

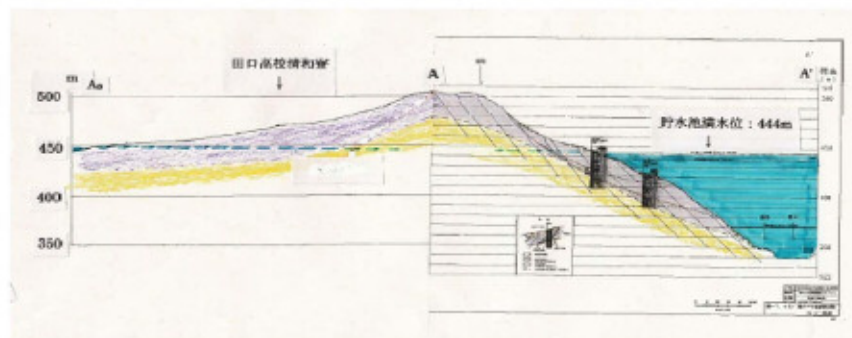
田口地区には貯水池を通る断層が存在し・不整合面と接する → 地下水への影響は？



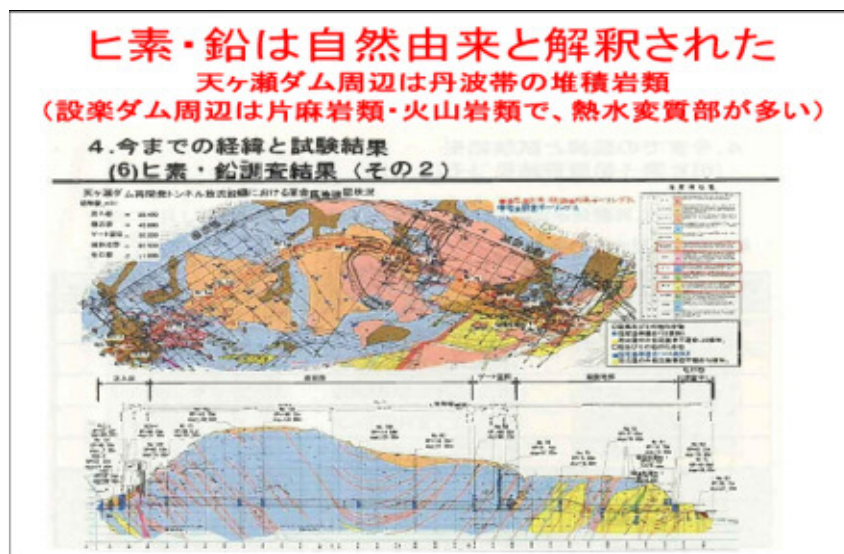
田口高校背後の山の左岸の地滑り地形



田口高校清和寮と貯水池間の断面図



(4) ヒ素問題



○ヒ素除染の費用は高額になる。

**掘削岩(土)の約半分を除染処理**  
**240億円→340億円→?**

4. 今までの経緯と試験結果  
 (6) ヒ素・鉛調査結果 (その4)

天ヶ瀬ダム再開発事業における掘削量及び現時点(平成26年1月)における自然由来重金属等含有岩石の想定量を以下に示す。 ※平成26年1月現在

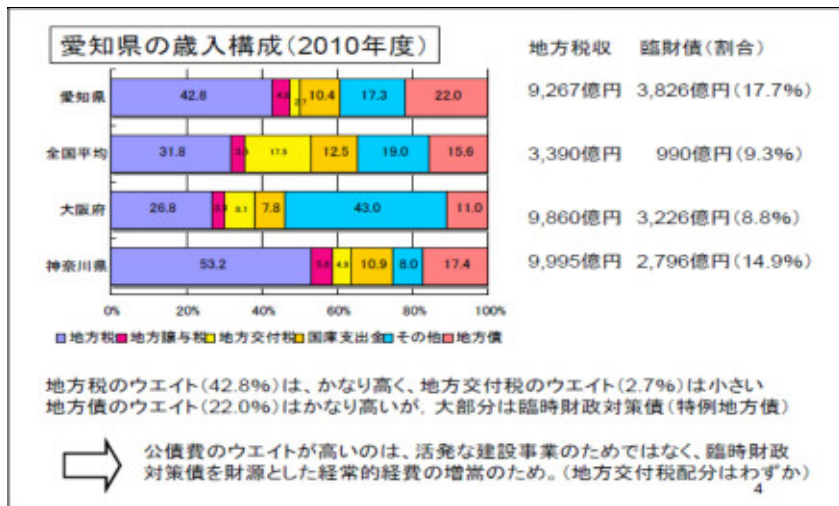
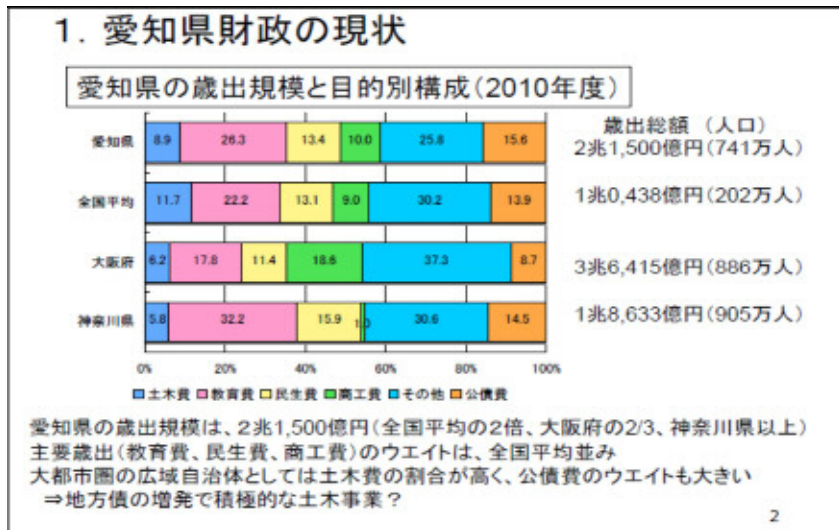
各部位	一般岩石	重金属等含有岩石
流入部	5,960m <sup>3</sup>	22,680m <sup>3</sup>
導流部	0m <sup>3</sup>	41,800m <sup>3</sup>
ゲート室部	15,200m <sup>3</sup>	14,000m <sup>3</sup>
減勢池部	72,000m <sup>3</sup>	15,300m <sup>3</sup>
吐口部	3,670m <sup>3</sup>	7,130m <sup>3</sup>
小計	96,830m <sup>3</sup>	100,910m <sup>3</sup>
掘削合計	197,740m <sup>3</sup>	

※上記の岩石量は想定量であり、今後詳細な調査を実施する事により数量は増減します。

## 5. 設楽ダムへの投資と効果

≪森徹氏講演 「愛知県の財政構造とダム関連投資」≫  
 ※名古屋市立大学大学院経済学研究科長・教授

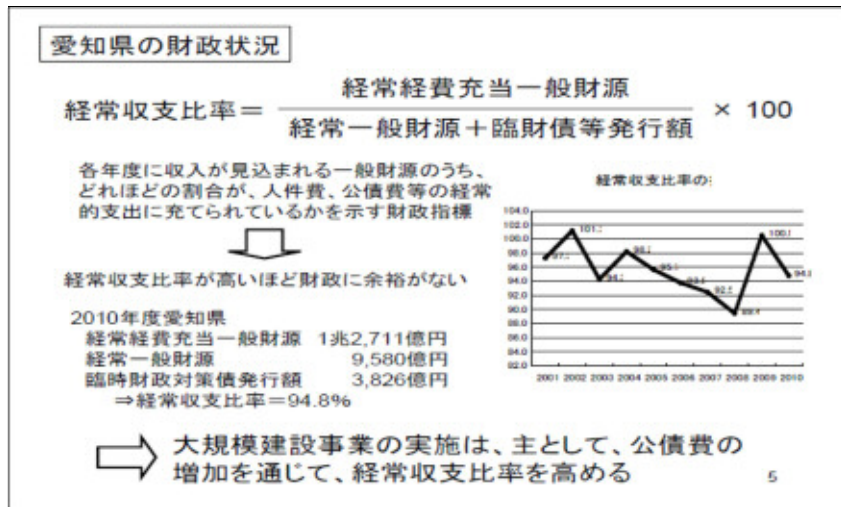
### (1) 愛知県財政の現状



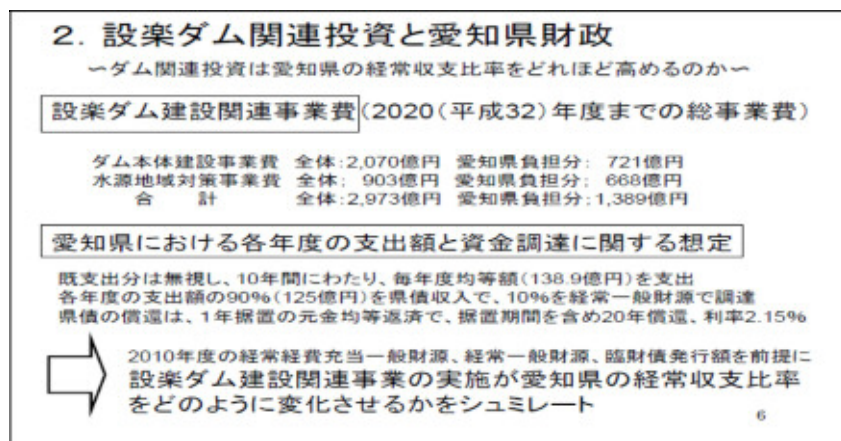
### ○臨時財政対策債

地方交付税総額が不足する場合、平成13年度の地方財政対策の見直しで、国と地方の責任の明確化や国、地方を通ずる財政の透明化を図るため、不足額を国と地方で折半し、地方分について各団体に地方債を発行して補てんすることとされました。この地方債が「臨時財政対策債」です。国は将来の償還を約束しているが空手形となるおそれがある。

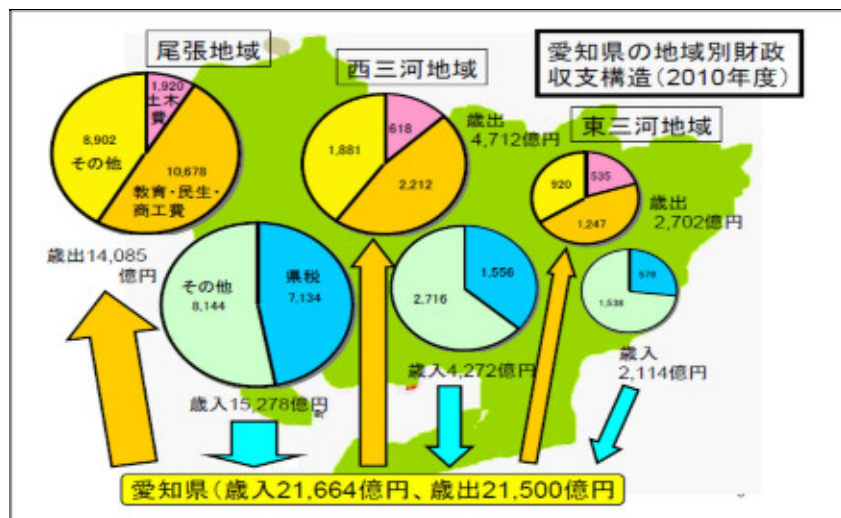


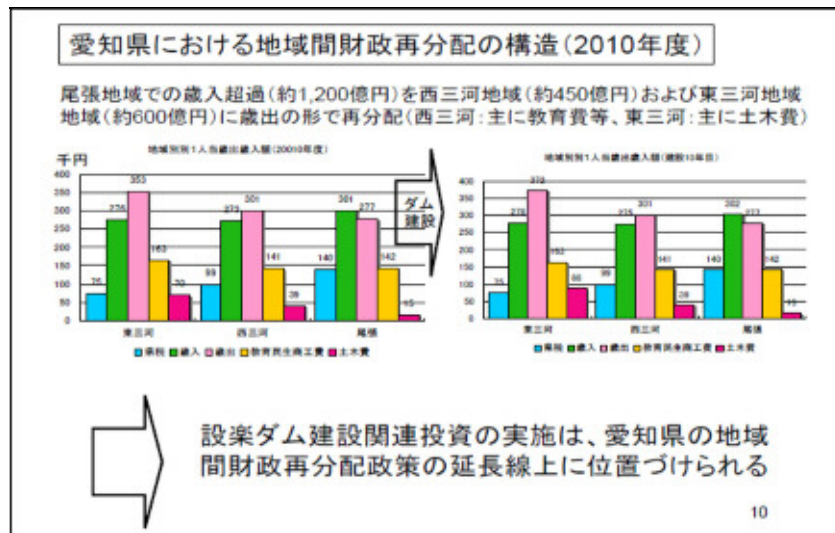


## (2) 設楽ダム関連経費と愛知県財政



○尾張地域からの税収を、西三河・東三河へ配分





《伊藤達也氏講演 「ダム投資と事業効果」》

※法政大学文学部教授

(1) 設案ダムの目的

規模		(万m <sup>3</sup> )
貯留量	総貯留量	9,800
	有効貯留量	9,200
	洪水調節	1,900
	流水の正常な機能の維持	6,000
	灌漑	700 (=0.339 m <sup>3</sup> /sec)
	水道	600 (=0.179m <sup>3</sup> /sec)

(2) 設案ダムの費用

2. 設案ダムの費用		(1)建設費用			
	計 (億円)	国	愛知県	利用者	備考
河川 (治水)	1,608	1,126	482(87.9)		国7割
水道	228	76	152(6.66)		国1/3
灌漑	234	147	64	23	国9/10×7/10 県9/10×3/10 利用者1/10
合計	2,070	1,349	698(94.56)	23	

## (2)水源地域対策費用①一水特法一

以下、愛知県HP

2009年1月 水源地域対策特別措置法に基づくダムに指定  
2009年3月 水源地域対策特別措置法の水源地域指定、整備  
計画決定

実施事業:土地改良事業、治山事業、治水事業、道路整備、  
簡易水道整備、下水道整備、公営住宅整備、林道整備、  
集会施設等整備、スポーツ施設等整備、保育所等整備

予定工期:2008年度~2020年度

経費概算額:約560億円

## (3)水源地域対策費用②一水特法以外一

### ② 豊川水源基金による振興事業

土地改良、簡易水道、林道等 約58億円

### ③ 一般行政事業

道路、役場改築 約214億円

### ④ 豊川水源基金による事業(ダム完成後に向けた積立金)

施設の維持管理費 50億円  
(ダム完成後に設楽町に寄付)

## (4)設楽ダム建設に係る水源地域振興 のための事業の概要

		水特	基金	計 (100万円)
水特整備事業及び 基金振興事業	県事業	38,880	1,629	40,509
	町事業	17,124	4,185	21,309
	計	56,004	5,814	61,818
一般行政事業	県事業			20,607
	町事業			768
	計			21,375
ダム完成後積立金				5,000
合計				88,193

## 豊川水源基金による事業(ダム完成後に向けた 積立金)施設の維持管理費 50億円

(具体的内容)

・運用想定額(元本取崩・果実運用併用型)

維持管理費分

43.5億円

当初30年間:「元本取崩型」とし、年1.5億円を取崩し

31年日以降:その時点の残額について新たに基金を設置し、

繰入れて「果実運用型」に移行(想定残額 24.5億円)

※ 43.5億円を「元本固定」と「取崩し」とに分類し、H26.6.2時点  
の金利(1年国債0.735%~30年国債2.524%)を活用して30年間に  
発生する利息を計算すると、利息総額は26億円となる。

地域開発関連事業分

6.5億円

地域イメージや集客力の向上のため、将来において実現したい(実現  
可能性の高い)地域開発事業の実施に必要な資金として造成する額